

研究の仮説	具体物を使って、生まれた時と現在の自分の成長を比較し実感すれば、自分の体の成長への関心を高めることができるであろう。
-------	--

- 1 単元名 わたしの成長「大きくなったね」
- 2 目標
- 自分の成長の様子に興味をもち、資料集めやインタビューを通して、進んで自分の成長を調べようとしている。(関心・意欲・態度)
 - 自分の成長を振り返るための資料を集めたり、実際に人に聞いたりしながら、自分の成長を実感するとともに、身近な人と自分の成長を伝え合うことができる。(思考・表現)
 - 自分のよさや可能性に気付き、新たな目標をもつことができるとともに、これまでの自分の成長を支えてくれた人の存在にも気付き、感謝の気持ちをもつことができる。(気付き)
- 3 指導にあたって
- (1) 児童の実態 (男子14名、女子17名、計31名)
 <生活に関するアンケート> (平成24年12月20日 31名実施)

- | | | |
|---|-----------------------------------|-----|
| 1 | 小さいころの思い出でおぼえていることは何ですか。(複数回答) | |
| | ・幼稚園でよく裸足で遊んだ | 15名 |
| | ・おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に遊んだ | 9名 |
| | ・夜眠らない時は車に乗って走ってもらおうと眠った | 6名 |
| | ・覚えていない | 3名 |
| | ・その他 | 10名 |
| 2 | 小さいころ大切にしていた物はなんですか。(複数回答) | |
| | ・お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんに買ってもらった物 | 15名 |
| | ・おもちゃ | 11名 |
| | ・赤ちゃんの時のおしゃぶり | 8名 |
| | ・病院でもらった物 | 6名 |
| | ・その他 | 6名 |
| 3 | 今大切にしている物はなんですか。 | |
| | ・友だちからもらった物 | 6名 |
| | ・お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんに買ってもらった物 | 5名 |
| | ・その他 | 20名 |
| 4 | 自分のよいところを知っていますか。 | |
| | はい | 24名 |
| | いいえ | 7名 |
| 5 | 自分のよいところは何ですか。(複数回答) | |
| | ・元気にあいさつをすることができる | 22名 |
| | ・お手伝いをすることができる | 20名 |
| | ・文字を丁寧に書くことができる | 19名 |
| | ・その他 | 8名 |

本学級の児童は、帰りの会で「今日よかったこと」を発表し、自分自身や友達のよかったことを互いに認め合う活動を毎日行っている。生活に関するアンケートでは、「元気にあいさつをすることができる」、「お手伝いすることができる」と自分のよさに気付いている児童が多く見られる。しかし、自分のよさをとらえきれず「よいところは分からない」と答える児童も見られる。また、小さい頃の思い出の中で、自分自身で何かをした時のことや家族との思い出について書けない児童も見られる。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領(9)の「自分の成長」を受けて設定した。児童一人一人が自分自身の成長を振り返ることを通して、成長を支えてくれた人の気持ちを考え、感謝の気持ちをもつことをねらいとしている。そのために、家族や地域の人などの話や過去の出来事、写真、昔使っていた衣服やおもちゃなどの具体的な手がかりをもとに、過去の自分と現在の自分とを比較し、自分の成長を実感することを目指している。

児童は8年間で、一人でできることや自分の役割も増え、目に見える部分だけでなく目に見えない部分でも大きく成長した。中学年へのステップアップを控え、自分の成長に改めて気付いたり、成長を支えてくれた人の気持ちを知ったりすることで、感謝の気持ちとこれからも意欲的に生活していこうする気持ちを育てることをねらいとしている。

(3) 指導観

第1次では、生まれた時と今の身長や体重を紙テープや米袋などの具体物を用いて実際に体験したり、幼いころに使っていた衣類などに触れたりする場面を設けるようにする。

自分の体の成長を確認することを始まりとして、目に見えない内面の成長にも着目させ、自分が成長したのは見た目だけではないことに気付くようにする。また、成長には「頑張った自分がいること」や「支えてくれた人がいること」、「支えてくれた人の気持ち」なども気付かせたい。

第2次では、当時の写真や思い出の品物などを見たり、家族へインタビューしたりして自分の成長をまとめた後に発表会を行い、友達と伝え合うことで新たな自分の発見まで導きたい。

第3次では、3年生の児童から話を聞くとともに教室を見学し、見たことや聞いたことからどんな自分になりたいかを考えて作文にまとめることで、自分のこれまでの成長やこれからの自分を改めて考えさせていきたい。

4 本時の指導

(1) 目標

具体物を使って、生まれた時と現在の自分を比較し感じたことを友達と話し合い、自分の体の成長を考えようとしている。
(関心・意欲・態度)

(2) 準備・資料

○ 紙テープ (板書用の成長の違いが分かる長さ、全員分の生まれた時の身長と同じ長さ)、砂袋、赤ちゃんの人形

(3) 展開

学習内容・活動 (学習形態・時間)	○指導上の留意点 ◎評価
<p>1 長さの違い紙テープや重さの違い砂袋は何を表しているのかを考える。 (全体・5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何の長さかな? ・袋の方は大きさが違うよ。 ・何だろう? 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「何?」と思う児童の考えを大切にしながら、何の長さか、何の重さかについて考えるようにする。 ○ 長さの違いや袋の大きさの違いに気付いた児童の声を大切にする。 ○ 紙テープは0才、8才の時の日本人の平均な身長長さであること、砂袋はその年齢の体重と同じ重さの砂袋であることを確認する。 ○ 全員で読むことで、本時の課題を確認する。
<p>2 本時の課題を知る。 (全体・5分)</p>	
<p>㊦ 生まれた時と今をくらべてみよう。</p>	
<p>3 生まれた時の自分と今の自分を比べる。 (個人・15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時はこんなにちっちゃかったんだ。 ・今の自分とはこんなにちがうよ。 ・こんなに身長が伸びたんだ。 ・今の体重は1人じゃ持ち上げられないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生まれた時の身長と同じ長さの紙テープを配り、今の自分と比較することで自分の体が成長していることを実感できるようにする。 ○ 身長だけで考えている児童には、体重の変化についても考えるように助言する。 ○ 考えがなかなかまとまらない児童には、成長は人によって異なるもので、自分で感じたことを大切にするように助言する。
<p>4 感じたことや気が付いたことを話し合う。 (全体・15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれたときは小さかった。 ・今の体重は1人では持ち上げられないよ。 ・身長が伸びると体重も増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と自分の共通点や相違点などを考えながら聞くことを確認する。 ○ 体の成長が分かる言葉は、意図的に板書していくようにする。
<p>㊦ かわったのは体だけなのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九九が言えるようになった。 ・縄跳びができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 体験や話し合いを通して、自分の体の成長を考えようとしている。(関心・意欲・態度、発言) ○ 体の成長以外にも視点を与えることで、より深く自分の成長について考えさせるようにする。
<p>5 次時の学習の確認をする。 (全体・5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体の他に変わったのは何か。」について話し合うことを確認する。

5 板書計画

1/25

0さい

50cm

8さい

1m20cm

㊦ 生まれた時と今をくらべてみよう。

- かんじたことや気がついたこと
 - ・生まれた時はこんなにちっちゃかった。
 - ・こんなにしん長がのびた。
 - ・生まれた時は小さくても今はこんなに大きいよ
 - ・今の体じゅうは1人ではもち上げられないよ。
 - ・しん長がのびると体じゅうもふえている。

㊦ かわったのは体だけなのかな。

研究の仮説	具体物やインタビューからわかったことを伝え合う活動を充実すれば、自分や友達の成長を多面的に振り返り、目に見える成長だけでなく、内面的な成長に気付くことができるであろう。
-------	--

1 単元名 わたしの成長「大きくなったね」

2 目標

- 自分の成長の様子に興味をもち、資料集めやインタビューを通して、進んで自分の成長を調べようとしている。
(関心・意欲・態度)
- 自分の成長を振り返るための資料を集めたり、実際に人に聞いたりしながら、自分の成長を実感するとともに、身近な人と自分の成長を伝え合うことができる。
(思考・表現)
- 自分のよさや可能性に気付き、新たな目標をもつことができるとともに、これまでの自分の成長を支えてくれた人の存在にも気付き、感謝の気持ちをもつことができる。
(気付き)

3 指導にあたって

(1) 児童の実態 (男子15名, 女子18名, 計33名)

本学級の児童は、「えがおいっぱい やさしさいっぱい みんな元気ななかよしクラス」の学級目標のもと、互いのよいところを認め合ったり、協力したりしながら生活している。

事前アンケートの結果から、多くの児童が年に1回の自分の誕生日をととても楽しみにしていることがわかった。しかし、「ケーキやプレゼントが楽しみ。」という理由が多く、自分の成長を喜んだり、家族を含めた周りの人が成長を喜んでいてることを感じたりしている児童は少ない。(平成24年11月9日 33名実施)

＜生活に関するアンケート＞			
1 誕生日は楽しみですか。	はい 31名	どちらでもない 1名	いいえ 1名
2 なぜ楽しみなのですか。	ケーキやプレゼントがあるから 17名	年に1度しかないから 1名	家族がお祝いしてくれるから 7名 年が1つ大きくなるから 6名
3 自分の名前がついたわけを知っていますか。	はい 15名	いいえ 18名	
4 小さい頃のことを聞いたことがありますか。	はい 24名	いいえ 9名	

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領(9)の「自分の成長」を受けて設定した。児童一人一人が自分自身の成長を振り返ることを通して、成長を支えてくれた人の気持ちを考え、感謝の気持ちをもつことをねらいとしている。そのために、家族や地域の人などの話や過去の出来事、写真、昔使っていた衣服やおもちゃなどの具体的な手がかりをもとに、過去の自分と現在の自分とを比較し、自分の成長を実感することを目指している。

児童は、この8年間で、一人でできることや自分の役割も増え、目に見える部分だけでなく目に見えない部分でも大きく成長した。中学年へのステップアップを控え、自分の成長に改めて気付いたり、成長を支えてくれた人の気持ちを知ったりすることで、感謝の気持ちとこれからも意欲的に生活していこうとする気持ちを育てることをねらいとしている。

(3) 指導観

単元の導入では、生まれてからこれまでの身長や体重を紙テープや米袋など具体物を用いて実際に体験したり、幼い頃に使っていた衣類などに触れたりする場を設ける。具体物を用いて体験したり、比較したりする活動を通して、「こんなに身長が伸びていたんだ。」「赤ちゃんのときの帽子、小さくてもうかぶれない。」といった自分の成長に気付き、学習への関心を高めたい。

また、この8年間で自分はどうのように成長してきたのかを根拠をもって実感するために、これまでの写真や衣類などを集めたり、自分を知る人へインタビューをしたりする学習を取り入れる。これらの調べ学習から、記憶にない自分自身の成長も知ることができ、より一層成長への気付きを深めるのではないかと考える。しかし、児童の成長過程や家庭環境が一人一人異なるので、十分配慮するようにしたい。

体が大きくなったといった目に見える成長だけでなく、目に見えない内面の成長にも着目することで、自分が成長したのは見た目だけではないということに気付かせたい。その気付きを友達と伝え合う場を設けることで、互いの理解を深めるようにしたい。また、自分の成長を支えてくれた人の思いや願いを知り、感謝の気持ちをもつことができるようにしたい。そして、これまでの自分の成長を実感し、自分への自信をもつことで、3年生へ向けて意欲をもって生活ができるようにしていきたい。

4 本時の指導

(1) 目標

- 自分や友達の成長を振り返り、目に見える成長だけでなく、内面的な成長をしていることに気付くことができる。(気付き)

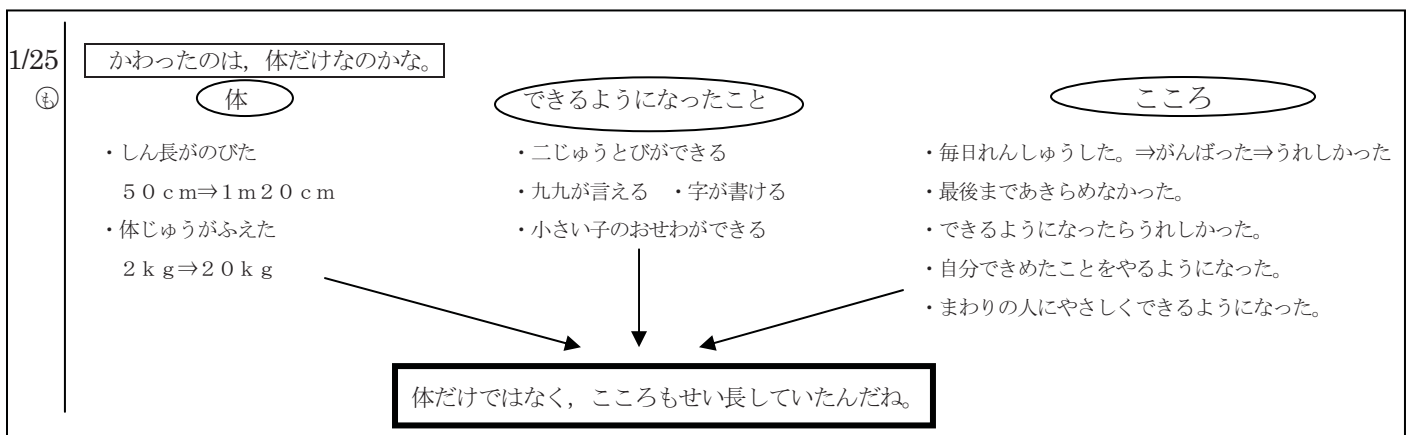
(2) 準備・資料

インタビューシート、写真や自分の成長がわかる物、テレビ、実物投影機、振り返りシート

(3) 展開

学習内容・活動 (学習形態・時間)	○ 指導上の留意点	◎評価
<p>1 前時の学習を振り返る。(全体・5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時はとても軽かったけど、今は一人じゃ持ち上がらないくらい体重が重くなっていたよ。 ・残さずご飯が食べられるようになったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの表情を見ながら話し合いができるように、学習形態はコの字型にする。 ○ 前時で話し合った体の成長やできるようになったことについて振り返ることで、本時の学習問題を改めて確認するようにする。 	
<p>2 本時の学習問題を知る。(全体・2分)</p> <p>㊦ かわったのは体だけなのかな。</p>		
<p>3 インタビューシートやエピソードにまつわる物、これまでの経験などの事実をもとにして話し合う。(全体・28分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの時はハイハイだったけど、1歳過ぎて歩けるようになったんだって。今は走ることもできるよ。 ・幼稚園の先生に聞いたら、野菜が苦手でなかなか食べなかったんだって。小学校に入ってからは好き嫌いしないで何でも食べられるようになったよ。 ・小学校に入って、ひらがなやカタカナが書けるようになったよ。漢字もたくさん書けるようになったよ。 ・最初はなかなかできなかったけれど、2年生になって九九が全部言えるようになったよ。 ・毎日頑張って縄跳びの練習をしたら二重跳びができるようになってうれしかったよ。 ・「小学生にチャレンジ」の時、幼稚園生にかかるたのやり方を分かりやすく教えてあげられたよ。 <p>㊦ 体だけではなく、こころもせい長していたんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ インタビューしたことやエピソードにまつわる品物を根拠として成長について話し合うことで、自分と友達の共通点や相違点に目を向け、成長の気付きをより一層深めるようにする。 ○ 児童の発言を「体の成長」「できるようになったこと」「心の成長」の3つのカテゴリーに分けながら板書していく。 ○ エピソードにまつわる品物(なわとび等)や写真がある場合は、必要に応じて黒板に磁石で掲示したり、実物投影機でテレビに映し出したりする。 ○ できるようになったことの羅列にならないように、なぜできるようになったのか、できなかったことができるようになった時の気持ちなど心の成長に着目できるような発問をする。 ○ 一方向の発表にならないように、互いに質問したり答えたりする場を設けるようにする。 ○ 話し合いがつまってしまった時には、意図的指名を取り入れたり、ペアやグループの話し合いを取り入れたりする。 ○ 体が大きくなることやできるようになるが増えること等を話し合う中で、「成長」という言葉を押さえるようにする。 	
<p>4 本時の学習を振り返りシートに記入し、まとめをする。(全体・10分)</p> <p>㊦ 体も心もせい長したのは、なぜだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人が話し合いから考えたことや自分が成長したと思うことを振り返りシートに記入し、次時の学習へつなげていく。 ◎ 自分や友達の成長を振り返り、目に見える成長だけでなく、内面的な成長をしていることに気付いている。 	(発言、振り返りシート)

5 板書計画



次	活動の流れ	評価計画
第1次	<p><第1時>（1組本時）</p> <p>㊦ 生まれた時と今をくらべてみよう。</p> <p>○ 自分の体の成長を具体物から実感したり、比較したりする。 ・生まれた時って、こんなに小さかったの。 ・今の体重，1人じゃもち上げられない。 ・こんなに体が大きくなっていったんだね。</p> <p>㊧ かわったのは体だけなのかな。</p> <p>・体が大きくなって，できるようになったことも増えたよ。 ・難しい漢字が書けるようになった。 ・かけ算九九が言えるようになった。 ・残さずご飯が食べられるようになった。 ・小さい時の覚えていないことは，お家の人に聞いてみたらわかるかもしれない。</p> <p><第2時>（2組本時）</p> <p>○ インタビュー等で調べてきたことや具体物を基に，自分の成長や友達の成長について話し合う。 ・赤ちゃんの時はハイハイだったけど，1歳過ぎて歩けるようになったんだって。 ・幼稚園の先生に聞いたら，野菜が苦手でなかなか食べなかったんだって。小学校に入ったら，好き嫌いしないで何でも食べられるよ。 ・小学校に入って，ひらがなやカタカナが書けるようになったよ。 ・最初はなかなかできなかったけれど，九九が言えるようになったよ。 ・毎日頑張って縄跳びの練習をしたら，二重跳びができるようになったよ。 ・「小学生にチャレンジ」の時，幼稚園生にかかるたのやり方を優しく教えてあげられたよ。 ・体が大きくなってできるようになったことも増えたけれど，心も大きくなっていったんだね。</p> <p>㊨ 体も心もせい長したのはなぜだろう。</p> <p><第3時></p> <p>○ 成長することができたのはなぜか話し合う。 ・お家の人のおいしいご飯をいっぱい食べたから，大きくなったんだよ。 ・嫌いな物を頑張って食べたら，幼稚園の先生が「偉いね。」って言ってくれたから食べられるようになったよ。 ・二重とびの練習をしていた時，友達が「頑張れ。」って言ってくれたから諦めないで練習できたよ。 ・鍵盤ハーモニカが上手だねってお家の人が言ってくれたから，音楽朝会頑張れたよ。 ・マラソンで頑張っている時，友達が応援してくれて，最後まで頑張れたよ。 ・誰かがいつも応援してくれたから頑張れたんだ。</p> <p>体も心もせい長したのは，自分をおうえんしてくれている人がいたから。</p>	<p>◇ 自分自身の成長に関心を持ち，自分の成長を考えようとしている。（関・意・態）</p> <p>◇ これまでの生活を振り返り，自分のできるようになったことや友達のできるようになったことに気付いている。（思・表）</p> <p>◇ 自分はたくさんの人に支えられて成長してきたことに気付いている。（気付き）</p>
第2次	<p><第4～10時></p> <p>㊩ せい長してきた自分をわかりやすくまとめよう。</p> <p>○ 自分の成長をまとめる。（絵や文，写真などを用いて） ・インタビューしてわかったことを文でまとめよう。 ・赤ちゃんの時のことを詳しく書こう。 ・はじめて書いた字の写真を貼ろう。 ・入学式のことを絵で描こう。</p> <p>㊪ せい長した自分をまわりの人につたえるには，どうしたらいいかな。</p> <p><第11時></p> <p>○ 自分の成長を伝えるためにはどうしたらいいか話し合う。 ・応援してくれたお家の人を呼んで，発表会をしたいね。 ・ありがとうの気持ちを伝えたいね。 ・できるようになったこと，みんなに知らせたいな。 ・写真や文でわかりやすくまとめるのもいいね。</p> <p><第12時～16時></p> <p>○ 発表会の準備をする。</p> <p><第17～18時></p> <p>○ 発表会を行う。</p>	
第3次	<p>㊫ これからどんな自分になりたいかな。</p> <p><第19時></p> <p>○ 3年生の教室を見学したり，インタビューしたりする。</p> <p><第20時></p> <p>○ これからどんな自分になりたいかを考え，文にまとめる。 ・3年生は，リコーダーを勉強するから頑張ろう。 ・下級生に優しくできる3年生になりたいな。</p>	